

日刊建設通信新聞（2026年6月10日付3面掲載）

【各国現法担当者が現状と戦略を発表 オリコンサルグローバル】

各国現法担当者が
現状と戦略を発表

オリコンサル
グローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバル（OCG）は5日、「現地法人等拡大戦略会議」を東京都新宿区にある本社とオンラインのハイブリッド形式で開いた。写真。同会議は年に1回、各国の現地法人社長と海外事務所長が現状と今後の戦略を発表するもの。技術部門の幹部社員や営業部門の社員らも含めて約100人が参加した。

今年のテーマは「自立化に向けた拡大戦略とOCGとの連携策」。冒頭、近藤一康取締役営業本部長は「各現地法人は、スタッフや経営の現地化を促進し、独立採算経営を目指してほしい。さらに非ODA（政府開発援助）分野の拡大にも積極的に取り組んでもらいたい。現地法人の成長・拡大が当社グループ全体の発展につながる」とあいさつした。

その後、各現地法人社長と

海外事務所長がそれぞれの拡大戦略を発表し、参加者と議論した。

同社は現在10カ国に現地法人を構えており、現地法人の従業員数は約850人となっている。

